耐寒促進剤 （タイプⅠ）

アクセルエースW

アクセルエースWは、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」AE 減水剤　促進形（Ⅰ種）、および日本建築学会の寒中コンクリート施工指針・同解説に示される耐寒促進剤（タイプⅠ）の品質標準を満足する耐寒促進剤です。

アクセルエース W を用いることで氷点下の極寒環境下においてもコンクリートの初期凍害を防止し、強度増進をさせることができます。

特　長

- セメントの水和を促進し、モルタル・コンクリートの初期強度発現を増進します。
- コンクリートの初期凍害を防止します。
- コンクリートの基本的な物性に影響を与えません。
- 鉄筋や鋼材の発錆の原因となる塩化物イオンを含みません。
- 無アルカリタイプの混和剤です。

主成分・物性

主 成 分	外　観	密度 (g/cm^3, 20℃)
非塩素系特殊無機塩とポリカルボン酸系化合物	褐色液状	1.38 ～ 1.44

使用量・使用方法

- アクセルエース W の標準使用量の範囲は、セメント 100 kgに対して 3～5L です。
- 最適な使用量は、使用目的、材料条件、配合条件、練混ぜ条件、温度条件などにより異なりますので、標準使用量の範囲内で目標性能が得られるよう試し練りにより決定してください。
- コンクリートの練混ぜ時に、単位水量の一部としてご使用ください。
- 凍結融解抵抗性を確保するため AE コンクリートとしてください。
- コンクリートの打込み終了後、養生シートなどを用いてコンクリート温度が 0℃になるまでの時間を 12 時間以上確保してください。

使用量の目安

気象条件 (日平均気温)	アクセルエース W の最低使用量 (L/C=100kg)	水セメント比 (%)
平均-2.5℃以上(最低外気温-5℃)	3	55 以下
平均-2.5℃以上(最低外気温-10℃)	4	50 以下
平均-5℃以上(最低外気温-15℃)	4	45 以下

コンクリート試験結果(例)

W/C (%)	s/a (%)	単位量(kg/m³)		アクセルエース W (L/C=100 kg)	スランプ (cm)	空気量 (%)	養生温度 (℃)	圧縮強度(N/mm²)			
		水	セメント					1 日	3 日	7 日	28 日
50	47	178	356	3	18.5	5.1	20	7.21	19.4	28.7	40.0
							-5	-	4.68	7.42	12.1
		175	350	4	18.0	5.0	20	8.86	23.0	31.6	41.2
							-5	-	7.21	10.7	18.6
		172	344	5	18.0	5.2	20	10.2	24.1	32.8	42.5
							-5	-	8.47	11.7	21.2

<使用材料>　セメント：普通ポルトランドセメント，細骨材：陸砂，粗骨材：砕石 2005A
<コンクリートの練上がり温度>　10℃
<養生方法>　養生温度 20℃：供試体採取後材齢 24 時間まで 20℃で封緘養生した後に脱型し、各材齢まで標準水中養生
養生温度 -5℃：供試体採取後材齢 24 時間まで 5℃で封緘養生した後に脱型し、各材齢まで-5℃で封緘養生

使用上の注意事項

- アクセルエース W を他の混和剤や化学物質との混合は避けてください。有害なガスが発生する恐れがあります
- ロダン化合物を含有する混和剤を使用したコンクリートへの併用は避けてください。
- アクセルエース W を使用したコンクリートが水と接触した際、硝酸・亜硝酸イオンが溶出する恐れがあります。
  浄水場設備へのコンクリートには使用しないでください。
- アクセルエース W の凝固点は-36℃です。通常保管では凍結することはありませんが、凍結した場合には温めながら撹拌し、融解させてからご使用してください。
- 本製品を標準使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試し練りで性状を確認するか、当社営業担当に別途ご相談ください。
- 連行空気量の調整は、当社の空気量調整剤を使用し、所要の空気量に調整してください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い時には、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、粘膜に触れたり、眼に入らないようにしてください。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをしてください。
- 目に入った場合は、清浄な水でよく眼を洗浄し、腫れ痛み等の異常が感じられる場合は、眼科医の手当てを受けてください。
- 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄し、無理に吐かせず、直ちに医療処理を受けるよう手配してください。
- 詳細な内容が必要な場合は、当社の安全データシート（SDS）をご覧ください。

荷姿

- 15L 缶／バルク

竹本油脂株式会社

本社・研究所　〒443-8611　愛知県蒲郡市港町 2-5　TEL.0533-68-2118　FAX.0533-68-1339
東京営業所　〒104-0032　東京都中央区八丁堀 3-20-5 S-GATE 八丁堀 3F　TEL.03-3553-6912　FAX.03-3553-6920
大阪営業所　〒541-0054　大阪府大阪市中央区南本町 4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル 9F　TEL.06-6243-3306　FAX.06-6243-3347
九州営業所　〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-10 東福第三ビル 2F　TEL.092-431-4355　FAX.092-473-8605

●このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取り扱いを変更する場合があります。
●ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保証するものではありません。

2025.09